

# 1. 地区特性、交通バリアフリー化からみた主な課題

## 地区特性

### 【データ】

1日平均乗降者数……………38,819人/日(実績)

高齢者利用者数……………4,542人/日(推定)

身体障害者利用者数……………1,087人/日(推定)

〔注〕高齢者利用者数 = 1日平均乗降者数( ) × 市平均高齢者率  
身体障害者利用者数 = 1日平均乗降者数( ) × 市平均身体障害者率

### 駅前広場概要

・面積(東側)……………5,200㎡(既設)

バスバース数……………12

・面積(西側)……………4,500㎡(既設)

タクシーバース数……………2

(参考)

・道路上

バスバース数……………2

### 【位置図】



### 【地区特性】

- ・本地区は、堺市と和泉市にまたがる区域となっており、堺市の南の玄関口、泉北ニュータウンの南西部に位置し、和泉市の東の玄関口、中東部に位置する地区である。
- ・本地区は、福祉ゾーンとして位置づけられており、地区内には、福祉施設、医療施設が集積している。また、近年、大規模商業店舗を中心とした施設の立地が進んでおり、広域からの集客力も高まっている。
- ・本地区は、鉄道と周辺地域へのバスの交通結節点としての機能も有している。

### 【交通バリアフリー化からみた主な課題】

#### 鉄道駅

- ・エレベーターなどバリアフリー化の施設整備が一定行われている。
- ・今後の施設の更新に伴い、案内サイン、誘導ブロックの改良など利便性の高い施設への更新が課題。

#### 駅前広場

- ・駅前広場と歩行者用デッキを結ぶスロープの勾配が急であり、段差解消の対策が必要である。
- ・駅前広場におけるバス関連施設等の改良。
- ・駅前広場を含む駅の周辺地区において、主要施設の案内・誘導サインの設置・改良が必要。

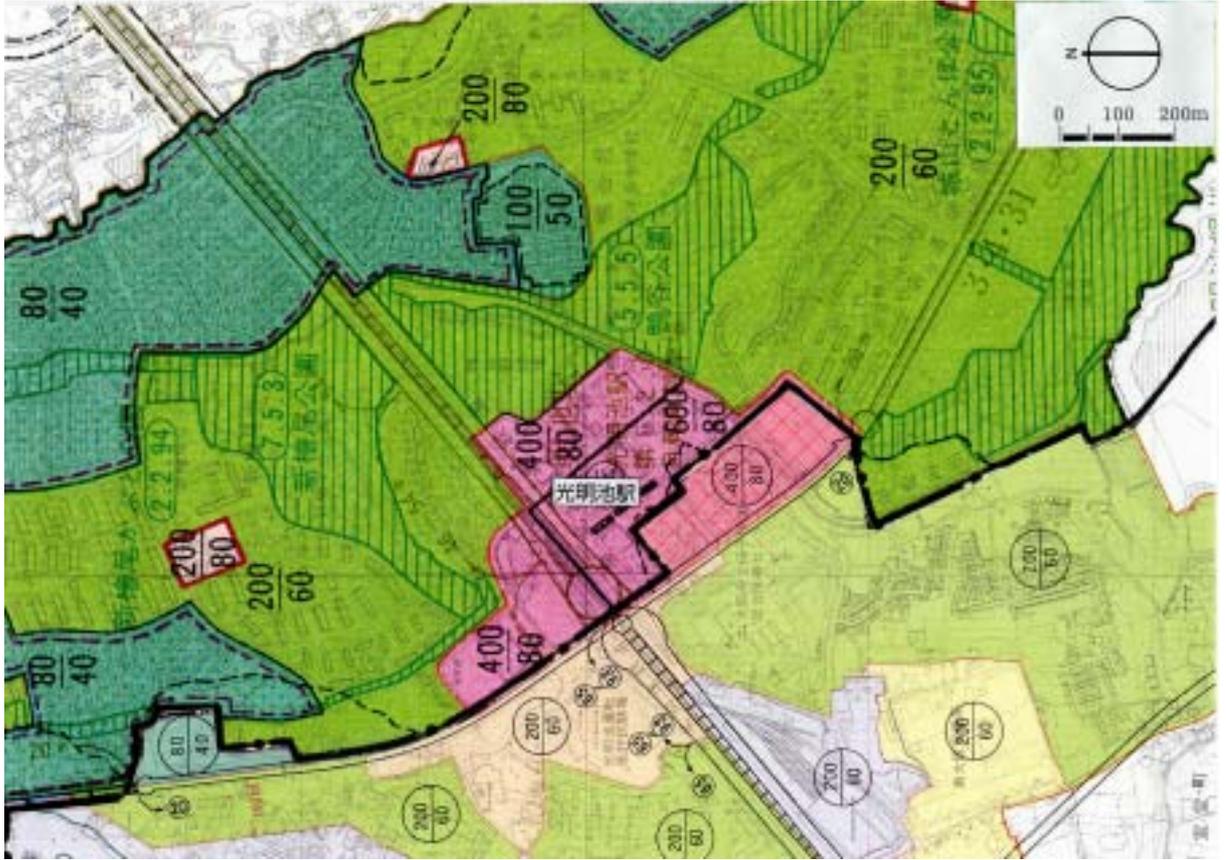
#### 道路

- ・地区内の歩道は、住宅地の開発に伴い一定整備がされているが、一部の場所での段差・勾配等の改良が必要。

#### 信号・交差点

- ・特定経路における音響信号機等の設置・改良など視覚障害者の横断の安全性の確保の検討。

用途地域図



建物用途現況

